

2024年(令和6年)8月6日(火曜日)



三菱電機は、スマートフォンでのGPSを利用し、現在地の浸水危険度や最寄りの避難場所から災害時の迅速かつ効率的な避難行動を一体的に支援する「水害ハザードマップアプリ」を金沢市に納入した。

アプリには、防災地図機能、洪水体験AR機能、お知らせ機能などを搭載。デジタルハザードマップをGoogleマップ上で閲覧することが可能。また、避難場所の位置や開閉状況をリアルタイムに閲覧できる。

そのほか、スマートフォン

## 水害防災アプリ 金沢市に納入

のカメラをかざすと、最寄りの避難場所の方向や距離がARで表示される機能も搭載した。カメラに映る風景に、洪水発生時の想定イメージを重ね合わせて表示することもできる。

洪水体験AR機能ではスマートフォンでのGPS情報とハザードマップ情報が連動し、現在地の浸水想定を確認することが可能。お知らせ機能では「災害情報メール通知サービス(金沢ばうさいドットコ

三菱電機

## スマホのGPSを利用

ム)とも連動。防災情報のほか、気象情報(特別警報・警報など)、地震・津波情報、行政情報などのお知らせを自動配信。

内容により、着信音を区別できるほか、緊急時にはマナーモードであっても、強制的に鳴動するプッシュ通知が可能。文字情報のほか、音声メッセージを配信することもできる。

その他の機能として防災関連情報の閲覧や国や県など他機関のホームページのリンク表示も可能。日本語・英語の2カ国語に対応している。